

見出し 9pt ゴシック体（英文：サンセリフ）

見出しが最上段の場合上を空けない

本文の書体は明朝体。サイズは 9pt。1 行につき 25 文字。1 段につき 48 行。1 頁全体で 2400 字。

本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

[illegible]

表タイトル8ptゴシック(英文:サンセリフ)、表の上におく

表1 表タイトルは 8pt、ゴシック 図の上に入れる

[illegible]

見出しの上は 1 行空ける

[illegible]

本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

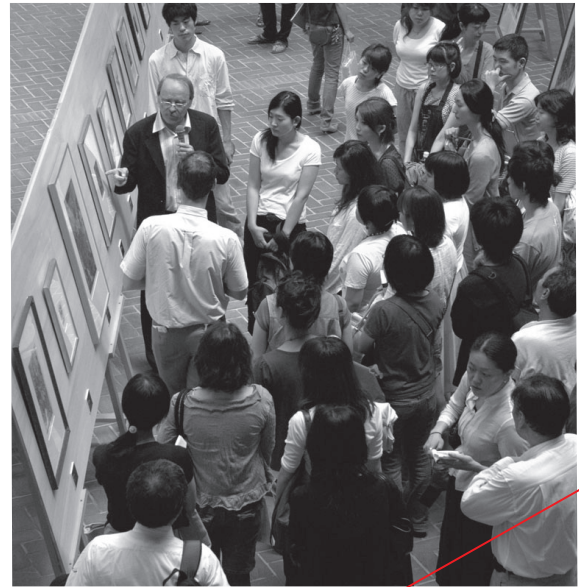


図1 キャプションは 8pt、ゴシック体。図の下に入れる

のである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々について。

見出しはゴシック体・サイズは 9pt.

こうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。^{注1}~~本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。~~

本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

注

注1 何々については何々である。

引用文献

1) 著者名、共著者名：表題、誌名、卷、号、頁、発行年

2) 著者名：書名、発行所、頁、発行年

图版典拠

図1 著者名：書名、発行所、頁、発行年

图2 著者自作

注・引用文献・図版典拠の見出しは
8pt. ゴシック(英文:サンセリフ)

注・引用文献・図版典拠の本文は
8pt. 明朝体（英文：ローマン体）

段間 10mm

下余白 25mm

9pt サンセリフ 10

10

本文 **ゴシック明朝体**
(英文: ローマン体)

左余白
23mm

本文中の引用箇所には片括弧付きの肩付き文字

図のキャプション8ptゴシック
(英文:サンセリフ) 図の下におく

右余白
23mm

本文中の注記箇所に「注」の様に肩付き文字